



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取組みです。

2024 年は、8 校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2 月～8 月）となります。今回は、4 月 27 日（土）から「名古屋芸術大学日本画コース二人展 安藤祐実×大見真里佳」大見真里佳、安藤祐実 計 2 名の展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『Petrichor』～第 26 回大学日本画展 <名古屋芸術大学日本画コース二人展 安藤祐実×大見真里佳>～
会期	2024 年 4 月 27 日(土)～5 月 12 日(日) 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17：00 まで）【入場無料】
会場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3－1－6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	安藤祐実（あんどうゆみ）、大見真里佳（おおみまりか）
展覧会内容	今回名古屋芸術大学日本画コース展では、ひとの中にある普遍性とその時代にしかみられない感情の揺らぎ方をそれぞれのテーマ、表現によって描き続ける作家を選出いたしました。この機会に 2 人の作品をぜひご覧ください。 <安藤祐実 作品について> 感情の表裏を同梱したような人物表現からは、心というものが喜怒哀楽それぞれの言葉で端的に言い表せない絡み合いの上、成立しているという事実を改めて強く知らされる。設定された画面に存在する植物や風景さえも、その主人公内面の欠片となって鑑賞者に届いてくる様だ。安らぎとそれに相反するものが平気で混在している、複雑で細やかな魅力がそこにはある。 <大見真里佳 作品について> 作品の表情からどこまでも穏やかな印象を受けるが、画面と対峙しているうちに、波一つない夜明けの湖面をみる時のような、吸い込まれそうになる憂いも感じる。描かれた人物には日々の騒めきや心揺さぶられる経験も体感しながら、なお静かな佇まいを保つ芯の強さがある。それが優しくかつ凛とした空気感となって私たちの目に映り、記憶として留められるのであろう。 名古屋芸術大学 美術領域主任教授 長谷川喜久 ※作家それぞれ 180×630 cm の作品 1 点、135×73 cm の軸作品 1 点、他 50 号程度～SM サイズ小作品まで 5 点ほど展示予定
主催	名古屋芸術大学日本画コース
企画	UNPEL GALLERY
協賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

安藤 祐実 ANDO Yumi

愛知県一宮市出身

2021 年 名古屋芸術大学芸術学科日本画コース 卒業

2023 年 名古屋芸術大学大学院美術研究科日本画制作修士課程 修了

2020 年 第 15 回 CBC 翔け！20 歳の記憶展 第 15 回記念賞

2020 年 福知山市佐藤太清公募美術展 入選

2021 年 第 48 回 名古屋芸術大学卒業制作展 卒業制作優秀賞 北名古屋市市長賞 ブライトン大学賞佳作 名古屋芸術大学後援会賞

2021 年 第 5 回 新日春展 入選（同'22、'23）

2022 年 第 9 回 日展 入選

2023 年 第 50 回 名古屋芸術大学修了制作展 立風賞 森荘賞

2023 年 第 41 回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展 入選

【コメント】

私は内省的な人物を描いています。感情や祈りといった目に見えない気持ちや行為を、人物はもちろん、植物などに落とし込んでいます。それらの絵を制作する時に、私は自分自身とも対話しているように思います。



「魂の世話」

2024 年制作 1350 × 730 mm
絵絹、胡粉、水干絵具、岩絵具

大見 真里佳 OMI Marika

愛知県一名古屋市出身

2019 年 名古屋芸術大学美術学部美術学科日本画コース 卒業

2021 年 名古屋芸術大学大学院美術研究科日本画制作修士課程 修了

2017 年 第 3 回 石本正日本画大賞展 入選

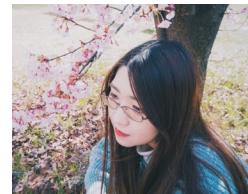
2020 年 第 15 回 CBC 翔け！20 歳の記憶展 入選

2021 年 第 5 回 新日春展 入選（同'22、'23）

2022 年 第 9 回 日展 入選

【コメント】

かわいいものやメルヘンチックな世界観が好きです。今でこそ言えるようになりましたが、子どものころは恥ずかしさもあり中々言えませんでした。幼い日の憧れやときめきを現在の自分の感覚と合わせて表現したいと考えています。



「鼓動」

2024 年制作 1350 × 730 mm
絵絹、胡粉、水干絵具、岩絵具